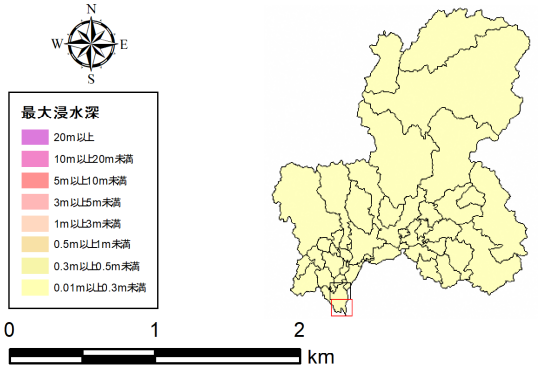
岐阜県津波浸水想定

この図郭に含まれる市町村：海津市

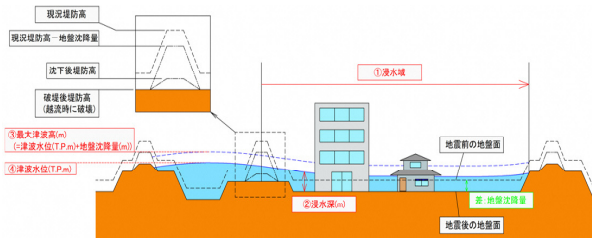


【留意事項】

- この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について（解説）」をご参照ください。
- 津波浸水想定は、「津波防災地域づくりに関する法律（平成 23 年法律第 123 号）」第 8 条第 1 項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 津波浸水想定は、最大クラスの津波が、河川堤防が沈下する等の条件下において発生した場合に想定される浸水域と浸水深を示しています。
- 津波浸水想定の浸水域および浸水深等は、津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を設定し計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見に基づき、今後発生が予想される津波から想定したものですが、想定外の事態があり得るため、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 河川内の水位については平水流量としているため、洪水時に津波が発生した場合などは、着色されていない区域で浸水することがあります。
- 津波浸水想定では、シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域以外での浸水の発生や、浸水深が大きくなる場合があります。
- 津波は、第 1 波だけで終わるものではありません。何度も繰り返し来るものです。また、第 2 波以降が大きくなることもあります。
- 岐阜県南西部の濃尾平野は、海抜ゼロメートル地帯が広がり地盤高の低い地域です。洪水による浸水や地震により県管理河川の堤防が沈下した場合に浸水することも考えられます。また、地盤沈下、液状化等により、長時間にわたって湛水することがあります。

【用語の説明】

- 浸水想定について（図－１参照）
- 浸水域：河川堤防から陸域に津波が浸水することが想定される区域
- 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来たときの地面から水面までの高さ



図－１　各種高さの模式図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。（承認番号　平 28 情複、第 1173 号）